

2019年8月5日

金属産業新聞(3面)に掲載されました

紙ねんどでねじ作り体験

日東精工

ねじはかせに、キミはなる!

日東精工(株) (京都府綾部市、材木正己社長)は、子供向けイベント「夏休

み2019 宿題・自由研究大作戦!(京都会場)「(7月24日・25日、京都みやこめっせ)」に出席。

「ねじはかせに、キミはなる!」をテーマに、ねじに関する体験型イベントを実施した。

「紙ねんどでつくろう!自分だけのねじ」のコーナーでは、ねじの作り方の授業から始まり、紙ねんどと模型を使ってねじを作った。ローリングの平たいスを模した板を挟みながらのねじ山作りや、熱処理工程を模した体験など、本物のねじさながらの工程を体験を



授業の風景

通じて学んだ。このほかにも0.6mmの極小ねじのねじ締め体験コーナー

やねじの種類を学ぶための「ねじの間違い探し」などのコーナーに、来場



極小ねじ締め体験

ほか子ども向け就業体験「あやザニア」への出展や、府立工業高等学校へのねじ締めロボット寄贈など幅広く取り組んでいる。同イベントへの出展は「教育

した子供たちは時には笑いながら時には真剣な顔つきで楽しんでいった。同社の子供向けイベントへの取組みは、経営理念にもとづき事業を通じて「社会貢献」を実現するためのCSR活動の一環。子どもたちへの育成には特に力を注いでおり、地元の図書館へ教育本を寄贈する取組みは4年以上続いている。この

支援「人材育成」「ねじの認知度向上」「話題作り」を目的としたもので、今年で2回目となる。今回のブース内容は、プレス板金フォーミング展「MFTokyo 2019」(7月31日〜8月3日、東京ビッグサイト)の(一社)日本ねじ工業協会のブースでも同社の企画・運営として実施された。